

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		科学館事業の運営		款	7	項	1	目	3	事業	10	整理番号	497						
担当部課名		教育委員会事務局科学館		係名		連絡先電話番号		3396-4391		昨年度整理番号		497							
上位施策No・施策名		62 生涯学習環境の整備・充実		予算事業区分		既定事業													
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	44	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	4	政策番号	3	施策番号	1	事業コード	4	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 理科教育振興法第一条		(2) 杉並区立科学館条例											
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)		(1) 年間延べ利用者数		(2)											
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1)		1日あたり平均利用者数		算定式・指標の説明等		利用者数÷開館日数		成果指標名(2)		算定式・指標の説明等	
区内在住・在勤・在学の児童・生徒、一般区民、区内団体、区立小・中学校教員																			
○学校教育支援事業を通して、児童・生徒・教員が科学についての知識、理解を深める。 ○生涯学習支援事業を通して、児童・生徒を含む区民が科学に関する興味、関心を高める。																			
○児童・生徒・教員を対象に、理科移動教室、科学教室、科学創意工夫展等の学校教育支援事業を行う。 ○区民を対象に、区民科学教室、天文の夕べ、サイエンス・ウィーク等の生涯学習支援事業を行う。																			

区分	単位	20年度		21年度		22年度		23年度計画	計画(目標値)に対する22年度の達成率 %	
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績				
指標	活動指標(1)	①	人	31,575	33,154	35,710	36,421	33,935	35,632	93.2
	活動指標(2)	②								
	成果指標(1)	③	人	107	113	121	123	115	120	93.5
	成果指標(2)	④								
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	31,869	39,244	34,682	35,656	30,015	35,538	22年度予算執行率% 84.2
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	400	2,915	0	0	0	<b>特記事項</b> ○22年度の利用者減は東日本大地震による事業の一部中止が影響しています。 ○理科移動教室のバス借上げ経費を、公用車の利用などにより節減しました。 ○独立行政法人科学技術振興機構(JST)、「地域の科学舎推進事業」に応募・採択された結果、50万円の助成を受けました。
	(内)委託費	⑦	千円	5,105	5,557	5,100	5,201	5,024	4,693	
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	5.30 15.00	5.30 15.00	5.25 15.00	5.25 15.00	5.40 15.00	4.25 17.00	
	人件費	⑨	千円	47,965	47,059	46,615	46,830	48,168	37,910	
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	42,000	41,895	41,895	44,250	44,250	50,150	
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	121,834	128,198	123,192	126,736	122,433	123,598	
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	3,859	3,855	3,368	3,480	3,608	3,469	
	受益者負担分	⑬	千円	142	91	102	91	167	91	
	国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0	
都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	500	0		
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	142	91	102	91	667	91		
差引:一般財源(⑰-⑬)	⑱	千円	121,692	128,107	123,090	126,645	121,766	123,507		
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 497

22年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		(1)主な取組み	理科移動教室運営経費	18,836
	科学教室開催経費	7,568	人	7,562
	科学創意工夫展開催経費	3,158	人	534
	ロボット杉並21開催経費	345	人	1,219
	その他(科学教育調査研究経費等 4,028人)			3,054
(2)事業実績	科学館事業の7割が学校教育支援事業、3割が生涯学習支援事業です。学校教育支援事業では、学習指導要領の改訂に沿って授業の見直しを行いました。生涯学習支援事業では、他機関との共催事業や助成対象事業を企画し、連携協力体制を進めるとともに、プラネタリウム(HAYABUSA-BACK TO THE EARTH-)では、追加・臨時的の放映を行うなど、事業内容の充実により、来館者の増を図りました。			

協働等点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3)協働等の形態 協働[事業協力]	(4)協働等の今後のあり方 推進

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和44年に科学教育センターとして開設し、区内の学校における科学教育の振興と充実を図るとともに、区民の科学的教養の普及・向上に努めてきました。平成14年に区民の科学に関する興味・関心にもこたえる生涯学習支援施設としての機能を強化するため、施設名も科学館と改め、区民向けの事業の充実を図りました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	プラネタリウムの常時放映や子ども向けの内容も組み入れてほしいとの要望があります。展示コーナーについては「小柴昌俊博士とニュートリノ天文学」の常設展示がありますが、ほかに特に興味を引くような展示物がないので充実してほしいとの声があります。
	今後の予測	学習指導要領の改訂や週5日制の見直しなどにより、教育現場の状況は変化しています。また、自然災害への備えやエネルギー政策に関する区民の関心も高まっています。これらの要望に合わせ、今後の科学館の在り方や、事業の編成を行う必要があります。
評価と課題	学校教育支援事業では、学校では指導が難しいものや、科学館の施設・設備を使った方がより効果的な授業を実施してきました。今後とも、学校からの要望や学習指導要領の改訂に合わせ内容の充実を図ります。また、生涯学習支援事業では、事業の新設、月例化などを行い、来館者の増や活性化に努めてきました。今後は、自然災害や原発、放射線やエネルギーなど今日的な課題や区民ニーズを的確に把握した事業運営が求められています。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性 ○ 拡 充      ● 現状維持      ○ 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善 ● 事業内容の変更      ○ 実施方法の変更
	<p>①施設等の老朽化に伴う検討 開設後42年を経過し、館内の展示物やプラネタリウム設備等が時代にそぐわなくなってきました。特にプラネタリウム設備は機器の入れ替えに多額の経費を必要とするため、近年のデジタル化の流れに取り残されています。また、施設の老朽化が著しく、施設の維持管理にも限界があると考えています。平成20年度からは、移転改築を前提として新科学館基本構想の検討を進めてきましたが、具体的な移転先が決まらないことから結論に至っていません。平成23年度の総合計画及び教育ビジョンの策定の中で、科学館のあり方を含めて検討していきます。</p> <p>②科学館事業の見直し 教育現場の環境変化や社会経済状況、生涯学習に関する区民ニーズに対応し、今後の科学館のあり方や、事業のあり方、今日的な課題に対応したカリキュラムの再編など科学館の事業運営全体を見直していく必要があります。</p>	

特記事項	科学館の管理運営状況については、整理番号503、事務事業名:科学館の維持管理 を参照ください。
------	---

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		科学館の維持管理		款	7	項	1	目	4	事業	2	整理番号	503			
担当部課名		教育委員会事務局科学館		係名		連絡先電話番号		3396-4391		昨年度整理番号		503				
上位施策No・施策名		62 生涯学習環境の整備・充実		予算事業区分		既定事業										
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	44	年度	<input type="checkbox"/>	実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/>	個人	<input checked="" type="checkbox"/>	世帯	<input checked="" type="checkbox"/>	団体	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	<input checked="" type="checkbox"/>	内部管理	根拠法令等				
	科学館の施設・設備、利用者		(1) 杉並区立科学館条例		(2) 杉並区立科学館条例施行規則											
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)													
○科学館の施設・設備を良好な状態に保つことにより、利用者が安全で快適なサービスの提供を受けられるようにする。		(1) 年間開館日数														
		(2) 年間延べ利用者数														
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標												
○科学館の施設・設備が常時良好な状態になるように維持管理を行う。		成果指標名(1)		1日あたりの維持管理経費												
		算定式・指標の説明等		維持管理経費決算額÷開館日数												
		成果指標名(2)		利用者1人あたり維持管理経費												
		算定式・指標の説明等		維持管理経費決算額÷利用者数												
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績							
指標	活動指標(1)	①	日	295	294	294	295	295	296	100.0						
	活動指標(2)	②	人	31,575	33,154	35,710	36,421	33,935	35,632	93.2						
	成果指標(1)	③	円	115,515	111,850	104,646	108,153	104,417	108,230	96.5						
	成果指標(2)	④	円	1079	992	862	876	908	899	103.7						
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	34,077	32,884	30,766	31,905	30,803	32,036	22年度予算執行率%		96.5				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	⑦	千円	24,337	22,327	22,011	22,354	21,975	22,371							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.12 0.00	2.12 0.00	2.10 0.00	2.10 0.00	2.16 0.00	2.12 0.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	19,186	18,823	18,646	18,732	19,267			18,910				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	53,263	51,707	49,412	50,637	50,070	50,946							
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	180,553	175,874	168,068	171,651	169,729	172,115							
	財源	受益者負担分	⑬	千円	71	45	96	45	60			45				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0				
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0			0				
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0			0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	71	45	96	45	60	45							
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	53,192	51,662	49,316	50,592	50,010	50,901							
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1								

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 503

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
				光熱水費	
		施設保守管理委託			21,797
		施設整備経費			933
		維持管理経費			722
		その他 ( )			0
	(2) 事業実績	開設から42年が経過し、建物の老朽化が顕著になってきました。平成22年度は防火扉や非常階段設備の改修工事を行い施設の維持管理や安全確保に努めました。また、日常的な小修繕は随時行い、大規模な修繕にならないよう施設点検と予防管理に努めています。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(3)へ	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和44年に学校教育施設として開設して以来、実験室等の耐震改修工事や、障害者用トイレの設置、外壁塗装等を行い、利用者の安全と施設の維持管理に努めてきました。平成14年には科学館と改称し、児童生徒を含む区民の生涯学習支援施設としての機能を充実し、利用の促進に努めています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	エレベーターや車椅子用スロープの設置等、高齢者・障害者にも利用しやすいバリアフリー施設にしてほしいとの要望があります。
	今後の予測	施設・設備の老朽化が進み、保守のための部品等も入手困難となっています。維持管理や修繕のための経費は、今後さらにかさんでいくと考えます。
	評価と課題	目標達成率の高さが示すように、施設・設備については日常的に点検を実施し、速やかな対応を行うことにより良好な状態を維持してきました。しかし、老朽化が進み、エレベーターの設置などバリアフリーへの要望に対しても応えられない状況にあります。安全で快適に利用できるよう、引き続き施設・設備の保全に努め、事業を実施していくうえで必要な維持管理を行っていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ● 現状維持      ○ 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更      ○ 実施方法の変更
	施設・整備の老朽化が進む中で、当面は現行事業継続のため必要な施設改修や維持管理を行います。また、平成23年度の総合計画及び教育ビジョンの策定の中で、科学館の在り方を含めて検討していきます。		

特記事項	科学館の事業実施状況等については、整理番号497、事務事業名:科学館事業の運営 を参照ください。
------	--

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		社会教育委員		款	7	項	5	目	1	事業	1	整理番号	538		
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		係名	管理係			連絡先電話番号	1663		昨年度整理番号	533			
上位施策No・施策名		62 生涯学習環境の整備・充実		予算事業区分							既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	元	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業				
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 社会教育法第15条～18条 (2) 杉並区社会教育委員の設置に関する条例									
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○社会教育団体への補助金交付に対する意見を述べたり、諮問に応じた答申や、調査・研究をもとに提言などを教育委員会に対して行うことにより、社会教育活動の向上、活性化を図る。		活動指標名(式)		(1) 会議開催回数 (2) 延べ会議出席委員数									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○学校教育関係者、公募による区民、学識経験者合計9名以内で構成し(任期2年)、社会教育の振興のための調査・研究などの活動を行い、必要な場合は教育委員会に対して答申や提言などを行う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
	成果指標名(1)	(代)NPO法人認証団体数		算定式・指標の説明等		「社会教育の推進を図る活動」と「学術・文化・芸術又はスポーツの振興を図る活動」の分野に関わるNPO法人認証団体数									
	成果指標名(2)			算定式・指標の説明等											
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %				
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績				
指標	活動指標(1)	① 人	15		12		13		12		7		12	58.3	
	活動指標(2)	② 人	99		108		92		108		54		84	50.0	
	成果指標(1)	③ 団体	267		270		288		300		277		300	92.3	
	成果指標(2)	④													
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	1,492		2,365		1,493		1,628		856		1,862	22年度予算執行率% 52.6	
	(内)投資的経費等	⑥ 千円	0		0		0		0		0		0	特記事項 ○予算執行残は、調査研究の一環として参加する会議が、杉並区で開催されたために旅費の執行がなかったことによります。 ○東日本大震災の発生により、内容をまとめる段階で計画した会議を開くことができませんでした。	
	(内)委託費	⑦ 千円	286		534		306		377		181		377		
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	1.00	0.00	1.00	0.00	1.06	0.00	1.00	0.00	0.95	0.00	0.70		0.00
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨ 千円	9,050		8,879		9,412		8,920		8,474			6,244
		(内)非常勤職員分	⑩ 千円	0		0		0		0		0			0
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	10,542		11,244		10,905		10,548		9,330		8,106		
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫ 円	702,800		937,000		838,846		879,000		1,332,857		675,500		
	財源	受益者負担分	⑬ 千円	0		0		0		0		0			0
		国からの補助金等	⑭ 千円	0		0		0		0		0			0
		都からの補助金等	⑮ 千円	0		0		0		0		0			0
		その他の補助金等	⑯ 千円	0		0		0		0		0			0
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰ 千円	0		0		0		0		0		0		
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱ 千円	10,542		11,244		10,905		10,548		9,330		8,106		
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲ %	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 538

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		社会教育委員の会議 開催回数	7	回	648
	社会教育委員の会議 会議録作成委託	8.25	時間	164	
	通信費、事務費			44	
	その他 ( )			0	
	(2) 事業実績	<p>○第10期の報告書を受け、より実効性のある報告書作成のために、区内の社会教育関係団体との意見交換会を開催しました。</p> <p>○学校で行われている活動の現場へ出向いたり、杉並区で活動する団体等へのヒアリング等を重ね、「地域活動の事例にみる社会教育への期待と課題」として検討をすすめました。</p>			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	(2) 協働等の相手	
	十分に実現している	NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方	
	協働[実行委員会・協議会]	実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	社会教育委員の会議は、平成2年度にその制度を発足し、現在で11期目になります。現在まで、区民の生涯学習環境の整備や、社会教育団体の活動基盤をはじめとする、区の社会教育行政のあり方に対して、提言や答申を行い、教育ビジョンをはじめとする計画等に方向性を示してきました。社会教育活動に関わるNPO法人数 H15.3.31 104→H23.3.31 277
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	社会教育委員に対する認知度や関心が高まらない状況にあり、その役割や提言等への取組みなどを広く区民に情報提供することが望まれています。
	今後の予測	区民の自主活動への参加意欲や関心への高まりをより自立した地域づくりに活かしていくためには、身近な学校を核とした地域支援との連携が重要です。このため、学校・家庭・地域との連携による社会教育活動の支援のあり方についてを検討することがより必要とされます。
	評価と課題	第10期社会教育委員の会議報告書の提言(「やりとりの復活」が紡ぎだす新しい公共空間)のもと、引き続き社会教育関係団体や地域活動団体とのコミュニケーションが図られました。東日本大震災による作業への影響もありますが、社会教育活動の向上、活性化を図るための意見の反映を充分行うことができませんでした。より議論を活性化し、かつ、活用していくには、社会教育行政の具体的な取組みを課題にするなど、内容の重点化・焦点化を図る必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ● 現状維持      ○ 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更      ○ 実施方法の変更
		<p>第12期の社会教育委員については、構成員の見直しを図るとともに、会議における検討テーマについても、新たな基本構想の策定や教育ビジョンの策定にあわせて、教育委員会における社会教育に関する課題を、検討の課題として提示することで、より実現性の高い内容の意見をいただけるようにしていきます。また、社会教育関係施設間の連絡会議や各種委嘱委員の協議会等との意見交換を通じて、区の社会教育を可視化する中で、社会教育委員の今後の役割を明確にします。</p>	

特記事項	
------	--

## 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		生涯学習振興室の維持運営		款	7	項	5	目	1	事業	2	整理番号	539
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		係名	管理係			連絡先電話番号	1663		昨年度整理番号	534	
上位施策No・施策名		62 生涯学習環境の整備・充実		予算事業区分								既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	7	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 学校教育法137条 (2) 杉並区立学校の開放に関する規則						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民及び団体等に小学校の余裕教室を有効活用した生涯学習振興室(ゆうゆうハウス)を設置することにより、生涯学習と社会教育活動の場を提供する。			活動指標名(式)		(1) 会議室利用回数 (2) 個人学習室利用者数						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○生涯学習振興室(愛称:ゆうゆうハウス)2箇所の運営 ○対象:個人及び団体 ○生涯学習の場として個人学習室を、社会教育活動の場として会議室を設置 ・西田:個人学習室1室(42席)、会議室2室 ・杉九:個人学習室1室(36席)、会議室3室(分割使用)			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
				成果指標名(1)		会議室利用率							
				算定式・指標の説明等		会議室利用回数÷貸出コマ数							
				成果指標名(2)		(代)個人学習室利用率							
				算定式・指標の説明等		個人学習室利用者数÷個人学習室席数							
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	①	回	1,002	1,450	1,064	1,600	1,080	1,600	67.5			
	活動指標(2)	②	人	17,798	25,000	17,005	26,286	18,538	26,300	70.5			
	成果指標(1)	③	%	21	25	21	30	23	30	76.7			
	成果指標(2)	④	%	68	75	65	80	71	80	88.8			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	17,164	18,441	17,002	18,597	17,841	18,495	22年度予算執行率% 95.9			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	15,235	15,943	15,193	15,968	15,382	16,464				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.43   0.00	0.40   0.00	0.42   0.00	0.40   0.00	0.42   0.00	0.20   0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	3,892	3,552	3,729	3,568	3,746	1,784			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	21,056	21,993	20,731	22,165	21,587	20,279				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	21,014	15,168	19,484	13,853	19,988	12,674				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	53	36	42	36	29	36			
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0			
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0	0			
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0			
		特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	53	36	42	36	29	36			
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	21,003	21,957	20,689	22,129	21,558	20,243				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2					

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 539

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
				ゆうゆうハウス2施設の運営業務委託	16042.15
		光熱水費	2	所	1,377
		清掃業務委託	825.64	m <sup>2</sup>	570
		電子複写機使用料	2	台	240
		その他 ( 電話料、機器保守委託等維持管理費 )			1,108
	(2) 事業実績	施設設備の老朽化に伴って、機器修理の費用が増えてきました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	個人学習室利用率(西田:H11~13 90%超、H15 56.72%、H21 47.10%、H22 54.90%。杉九:H11~13 100%超、H15 96.94%、H21 86.0%、H22 88.9%)、会議室利用率(西田:H12~13 30%超、H15 30.46%、H21 19.9%、H22 19.8%。杉九:H12~14 30%超、H15 29.73%、H21 23.4%、H22 24.6%)
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	施設の増設や、施設内で複数の利用者が相談できる学習の場の設置、パソコンなど電子機器利用のための設備(電源・LAN他)を整備してほしいなどの要望が寄せられています。
	今後の予測	個人学習室の需要は高いが、2ヶ所の設置にとどまっているため、区内全域の利用者の需要に応えられる状況にありません。今後、学校と地域の連携や学校施設全体の有効利用のあり方などを考えながら、身近な地域の中に利用できる施設としてのあり方を検討する必要があります。
	評価と課題	個人学習室の利用者は、年度により人数の変化はありますが、おおむね70%前後の利用率で推移しており、施設の有効利用や公共の学習スペースとしての目的を果たしています。身近な地域に学習スペースを設置してほしいという声が寄せられており、今後、児童数の変化など小学校を取り巻く環境の変化や他の関連施設や事業とのバランスを考慮しながら、施設のあり方を検討していく必要があります。また、空調等設備が老朽化してきているため、計画的な施設設備の保全が必要です。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ● 現状維持      ○ 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更      ○ 実施方法の変更
		利用者の拡大を図るため、図書館等での案内の配布や、夏休みに向けて広報すぎなみにPR記事を掲載した結果利用者が増えました。今後も一層の利用の拡大を図るため、他の社会教育施設と連携してPRを徹底していきます。	

特記事項	
------	--





# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 540

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				生涯学習活動の指導者傷害保険対象者	3,822
		大学連携事業開催費分担金	1	件	300
		通信費・管理事務費ほか			552
		その他 ( )			0
	(2) 事業実績	・これまでの成果をふまえ「杉並区と区内高等教育機関との連携協働推進に関する包括協定」のもと、区内大学等がそれぞれの特徴を活かした独自の企画事業を実施しました。 ・後援等名義使用承認事務については、社会教育センターとの役割分担を明確にしながら事務の効率化を図りました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[その他]	(4) 協働等の今後のあり方 推進	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	生涯学習活動の使用者傷害保険 契約人数(1日あたりの稼働人数)：(～H18)50人→(H19～)100人、加入数 H20:75団体3,894人 H21:79団体3979人H22:74団体3822人、後援等名義使用承認件数 H17 130件、H20 159件、H22 133件、杉並区と区内高等教育機関との連携協働推進協議会開催回数 H17 15回、H20 17回、H22 13回、
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・より多くの地域人材や多様な団体の活動を地域の中で活かすことが求められています。 ・区民が安全に安心して活動できる環境を整えるため、生涯学習活動以外の保険等の導入も求められており、必要とされる保険間の整合性を図る必要があります。 ・名義使用承認を要件とした広報紙掲載による団体活動の支援に、より簡易な方法が求められています。
	今後の予測	区民や社会教育関係団体による自主的な社会教育活動が、区の様々な所管課の事務事業と関連しながら行われており、区全体の横断的な支援体制を確立することで社会教育関係団体の活動が推進され、地域活動の活性化にもつながります。
	評価と課題	大学連携については、包括協定締結5周年の段階で様々な分野において地域の資源として大学が活用されている実態が確認できましたので、今後も定期的に調査を重ね、区と大学との連携協働の推進窓口としての役割を担っていきます。指導者保険の加入や後援名義の申請においても、毎年新しい団体が増えていますが、さらに区民の社会教育活動が定着するよう、他課による事務事業等との調整を図るなど、区全体が連携して支援に取り組んでいく必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ● 現状維持      ○ 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更      ● 実施方法の変更
		・課内では、社会教育関係団体の活動状況の把握と支援に結びつけるため、社会教育センター関連団体の後援名義申請窓口を社会教育センターとしました。今後は、社会教育関係施設間の連絡会議を設置し区民への効率的な情報提供のあり方や連携事業の実施などの検討を進めており、社会教育関係施設間の連携により、区民へのよりきめ細かな社会教育関連情報の発信を目指します。 ・実現性のある今後の大学等との連携協働推進方策については、引き続き区と区内高等教育機関との連携協働推進協議会において検討します。 ・指導者傷害保険については、現行制度の有効性を検討します。名義使用申請については、社会教育センター以外の教育委員会内の担当部署との調整をすすめ、より合理的な方法で団体の活動を支援する方策を検討します。なお、社会教育関係団体や区民の活動は、教育委員会以外の区の多岐に渡る関係部署の事務事業と関連しているため、団体の要望を把握し実態に即した支援に反映させるには、調整に時間がかかる状況です。	

特記事項	
------	--



# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 543

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		委員報酬	42	人	4,008
		地域教育連絡協議会開催のための分担金	20	校区	1,135
		運営事務費(通信費、消耗品など)			553
		その他 ( )			0
(2) 事業実績		青少年委員事業は、定例会7回、研修3回をはじめ、委員の自主組織である協議会主催で役員会、専門部会等も開催し、学校・地域・家庭つなぐ役割としての資質の向上を目指した活動をしています。地域教育連絡協議会は、各中学校区単位の懇談事業を39回開催し、2,019人の参加がありました。子ども地域活動促進事業は、各中学校区内の実行委員会と共催し9,499人の参加がありました。なお、地教連・子促とも震災のため2つの中学校区で事業が開催中止となりました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	(2) 協働等の相手	
	十分に実現している	NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方	
	協働[その他]	実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和28年度に都の制度として発足しました。地域や家庭の教育力の低下が、健全育成に影響をもたらしていると言われており、内外での対人暴力や器物損壊等が発生した問題行動が認められる学校は、平成12年度は39.9%でしたが、21年度には47.8%と10年間で10%近く増えています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	青少年育成委員会や児童館事業に加えて、学校支援本部への関与なども増えてきて、かかわることの負担感や、それぞれの場面での青少年委員の位置づけや役割が不明確との意見があります。また、担当青少年委員未定の小学校区では、児童館などから委員の協力が必要との声が寄せられるなど、地域にとって青少年委員は不可欠な存在となっています。
	今後の予測	学校の統廃合があると、担当学校区や定数の見直しが必要となります。全小中学校に「学校支援本部」が設置されるなど、地域教育の中で拡充により今まで以上に青少年委員の役割が大きくなります。
評価と課題		地域教育連絡協議会の事務局運営や他団体への委員派遣など、地域の核となり青少年の健全育成に大きな役割を担っています。一方で、地域の教育力が問われる中、職務の重要性についての認識を持ってその役割を担ってもらうことが必要であり、定例会や研修会の充実が求められています。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更
	第7期東京都生涯学習審議会第二次答申(平成20年12月)では、社会全体で教育力を向上させるため、「地域教育」という視点が欠かせないとされました。定例会、研修会では、社会や区の現代的な教育問題を積極的に取り入れた運営を行います。また、学校運営に関する「地域教育」の推進体制にかかる改革が行われる中で、青少年委員活動の位置づけを地域に分かりやすくするために、組織運営の再構築を行っていきます。		

特記事項	
------	--

## 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		社会参加支援		款	7	項	5	目	1	事業	7	整理番号	544
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		係名	社会教育センター		連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	539		
上位施策No・施策名		62 生涯学習環境の整備・充実		予算事業区分								既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	44	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 社会教育法第3条、第5条 (2) 杉並区済美日曜教室実施要綱、にほんご教室実施要綱							
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 障害を持った方や日本語の習得が必要な外国人等が、自立して社会参加できるようにする。		活動指標名(式)		(1) 済美日曜教室延参加者数 (2) しゃべり場延参加者数							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○済美日曜教室 通常講座、近郊へ出かける遠足等の課外講座を実施 ○にほんご教室 区内団体の協力で、年3期、各期レベル別に5コース設定し実施 ○青年期の社会適応力の向上 「すぎなみしゃべり場」(フリースペース)の開催や講座を開催		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 済美日曜教室参加率 算定式・指標の説明等 済美日曜教室延参加者数÷済美日曜教室延登録者数 成果指標名(2) しゃべり場1回あたりの参加者数 算定式・指標の説明等 しゃべり場延参加者数÷実施回数							
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)	①	人	958	1,728	891	1,400	808	900	57.7			
	活動指標(2)	②	人	273	350	346	300	209	300	69.7			
	成果指標(1)	③	%	61	70	60	70	63	70	90.0			
	成果指標(2)	④	人	7	8	8	7	4.8	7	68.6			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	5,197	8,313	5,560	7,981	4,976	8,255	22年度予算執行率% 62.3			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ○予算執行残の理由は、①済美日曜教室において荒天・震災による事業の中止、ボランティアの減少による報償費の減 ②にほんご教室における託児児童の減、③青年期の社会適応力向上におけるコミュニケーション講座・サポーター研修の減等です。			
	(内)委託費	⑦	千円	297	457	358	207	202	507				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.20 0.80	2.00 0.80	2.30 0.80	2.00 0.80	2.30 0.80	1.80 1.10				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	19,910	17,758	20,422	17,840	20,516				16,056
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	2,240	2,234	2,234	2,360	2,360				3,245
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	27,347	28,305	28,216	28,181	27,852	27,556				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	28,546	16,380	31,668	20,129	34,470	30,618				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	407	704	375	587	369				546
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0				0
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0				0
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0				0
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	407	704	375	587	369	546				
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	26,940	27,601	27,841	27,594	27,483	27,010				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳	%	1.5	2.5	1.3	2.1	1.3	2.0					

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 544

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		済美日曜教室(通常講座11回、野外活動3回) にほんご教室 青年期の社会適応力の向上(しゃべり場、親向け講座、意見交換会等) その他 ( )	92 56 209 0	人 回 人 0	3,788 339 849 0
(2) 事業実績	①済美日曜教室は、通常講座、遠足・宿泊等年14回実施しました。荒天により運動会・震災により通常講座とボランティア講座が中止となりました。②にほんご教室は3期5コース延べ60回開催の予定でしたが、東日本大震災のため、3期は16回しか開催できず、計56回となりました。③青年期の社会適応力の向上事業は、ひきこもりの青年を対象としたフリースペースを43回(毎週火曜、夜間)、家族向け講座を2回、関係団体の意見交換会等実施等をしてきました。				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[その他]	(4) 協働等の今後のあり方 推進	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	障害者の通所系サービス利用者数 950人(平成18年10月)→1,178人(平成22年3月) グループホーム等利用者数 129人(平成18年10月)→180人(平成22年3月) 全国のひきこもり人口 70万人(内閣府推定 平成22年)
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	済美日曜教室に対する期待は、参加者アンケートでは「特に必要」90%と高くなっています。また、休日にも家族と過ごす割合が高く、日曜日に家族外の人と交流のできる事業への期待は大きなものとなっています。 しゃべり場参加者へのアンケートでは、フリースペースに全員が大きな期待を寄せています。
	今後の予測	済美日曜教室は、法等により地域福祉サービスが休日も充実され、ボランティアの漸減が続きます。にほんご教室は、原発問題の風評収束により在日外国人の再来日が見込まれ参加者は増加します。ひきこもり問題は、親の年金不正受給問題があるなど当事者の高齢化と長期化が進みます。
評価と課題	済美日曜教室は、参加者や家族から多大な期待と評価が寄せられています。今後、ボランティア参加者を十分に確保することが難しい状況にある中で、安全確保等の面からもいかに協力を得ていくかが求められています。 「しゃべり場」は、「たまり場」としてひきこもり支援の一つとしての役割は大きいものがあります。しかし、抜本的な解決にあたっては、医療機関や他機関、NPOなどによる多彩なアプローチが必要となっています。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
済美日曜教室は、ボランティアの確保のために育成方法を具体的に検討していく一方で、安全確保の面や他施策により参加者が横ばい傾向にあることから、現在のプログラムの簡素化や運営方法の見直しを行っていきます。 ひきこもり支援は、「青年期の」事業として位置づけていますが、対象者が拡大傾向にあることから事業のあり方を検証します。また、多様な機関が連携して解決にあたれる体制について検討します。			

特記事項	
------	--

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		社会教育センター運営		款	7	項	5	目	1	事業	8	整理番号	545		
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		係名	社会教育センター		連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	540				
上位施策No・施策名		62 生涯学習環境の整備・充実		予算事業区分				既定事業							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	1	年度	<input type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/>	個人	<input type="checkbox"/>	世帯	<input checked="" type="checkbox"/>	団体	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>	内部管理	根拠法令等 (1) 杉並区立社会教育センター条例 (2) 杉並区社会教育事業推進委員会設置要綱			
	一般区民、自主活動団体、企業	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）				活動指標名(式)									
	<p>○社会教育センター施設は、社会教育の実践の場として広く区民等の利用拡大に努める。</p> <p>○区民や団体が、身近な地域で、生涯を通じて社会とのつながりを持ち続け、自発的な学習活動の実践につながるように、社会教育事業推進会議の活動等を展開する。</p>				<p>(1) 施設利用回数</p> <p>(2) 社会教育事業推進委員の人数</p>										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標											
<p>○施設の予約は、窓口、携帯、インターネットによる方法で受け付けている。</p> <p>○社会教育事業推進委員会(愛称:車座委員会)を設置し、事業を推進する方策について、区民の参画を得て協議・実践・調査・研究等を行う。</p> <p>○地域における区民の自発的な各種学習活動を支援する。</p>				成果指標名(1)		稼働率									
				算定式・指標の説明等		施設利用回数÷施設利用可能回数									
				成果指標名(2)		定例会議における社会教育事業推進委員の出席率									
				算定式・指標の説明等		出席者の延べ人数÷(社会教育事業推進委員数×12回)									
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)	①	回	5,269	8,606	5,191	8,606	5,351	8,606	62.2					
	活動指標(2)	②	人	12	12	12	12	12	12	100.0					
	成果指標(1)	③	%	61	100	60	100	62	100	62.0					
	成果指標(2)	④	%	81	80	77	80	80	80	100.0					
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	9,229	7,542	6,021	7,068	5,427	7,068	22年度予算執行率% 76.8					
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 予算執行残の理由は、地域課からの執行委任残等です。					
	(内)委託費	⑦	千円	544	692	509	609	506	589						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	3.30 0.80	3.10 0.80	3.32 0.80	3.10 0.80	3.19 0.80	2.40 0.80						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	29,865	27,525	29,478	27,652	28,455			21,408			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	2,240	2,234	2,234	2,360	2,360			2,360			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	41,334	37,301	37,733	37,080	36,242	30,836						
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	7,845	4,334	7,269	4,309	6,773	3,583						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0			
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0			
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	41,334	37,301	37,733	37,080	36,242	30,836						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 545

22年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み	社会教育センター運営経費(消耗品、備品)				4,296
	社会教育事業推進組織委員等謝礼金				288
	社会教育事業推進組織運営事務費				116
	通信運搬費等(電話料金他)				727
	その他( )				0
(2)事業実績	施設利用 震災による安全点検のため、ホールの臨時使用禁止(3月12日～3月末) 会議開催 合計12回(定例会11回、臨時会1回) 東日本大震災の影響のため定例会は1回中止 議題件数 合計35件 車座トーク「まちは子どものワンダーランドか?～それって何なの?ミニ・ミュンヘン」と 社会教育セミナー「ENGAKU(縁學)」の開催につながりました。				

協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3)協働等の形態 協働[実行委員会・協議会]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	施設使用率 平均約60%(平成元年度～平成22年度) 区民意向調査における調査結果(地域の講習会や教育支援活動への参加意向) 15年度 43.2% → 18年度 42.8% 区民アンケート(協働の地域社会づくりについての考えに対する参加意向) 22年度 8割以上
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	車座委員からは「活動領域の違う人とつながることで視野が広がる」「地域課題を一つ取り上げても議論が深まり、次につながる発想が得られる」といった声があります。また、車座委員会と協働で実施した事業の参加者からは、車座委員会への関心の声があります。 「なかま集まれ」については、もう少し掲載文字数を多くしてほしい、という声が多くありました。
	今後の予測	社会問題となった「無縁死」や東日本大震災の影響により、「つながり」や「絆」といった言葉に象徴されるように、他者と関係を築くことの重要性がより意識され、区民の地域づくりへの参加・参画が進みます。
評価と課題		社会教育事業推進委員会では、21年度に応募資格等を見直した結果、22年度新委員の定例会議での話し合いが活性化し、「さがす」「つなぐ」「つくる」「働きかける」「広げる」という役割のとおり、他部署にはない、区民需要の高い事業開催へとつなげ、新たな地域活動の立ち上げにも寄与しました。今後も事業開催等によって、区民の地域づくりへの参加意欲を向上させ、具体的に行動を興すようになるための仕掛けや働きかけを検証し、より強化していくことが必要です。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性 <input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善 <input type="radio"/> 事業内容の変更 <input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更
豊かな地域づくりのためには、「官」が独占してきた領域を公に開き、政府や行政、企業はもちろん、NPO活動なども含め、市民一人ひとりがそれぞれの役割を見出し、地域や社会の課題や問題にあたる必要があります。このような「新しい公共」という視点に立ち、文部科学省は、政策形成の新機軸として、これまでの専門家による検討を踏まえたものから、教育現場の当事者にも政策形成プロセスを開く取り組みを始めています。地域の実情を踏まえて事業を行う区の社会教育行政においても、区民の参画方策をより工夫していくことが求められています。 こうしたことから、社会教育事業推進委員会においても、社会教育に留まらず、NPOやボランティア等でも活躍する個人がとなり、そのネットワークや情報を活用しながら、幅広い議論と実践ができる活動をより一層推進していきます。 これにより、参画と協働による地域づくりの仕掛けや仕組みを委員会内で共有し、それを発信しながら、区長部局とも連携し、主体的に地域づくりに関わる区民層を広げていきます。		

特記事項	
------	--



# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		社会教育団体協働事業			款	7	項	5	目	1	事業	9	整理番号	546	
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課			係名	社会教育センター			連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	541		
上位施策No・施策名		62 生涯学習環境の整備・充実			予算事業区分								既定事業		
事務事業の概要	事業開始	▼ 26年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号		事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		区内在住・在勤・在学者 各種社会教育団体		根拠法令等	(1) 社会教育法第3条、5条 (2) 杉並区立社会教育センター条例								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民や関係団体と事業を共催することにより、区民の生涯学習や文化・芸術活動の参加の機会を提供するとともに、関係団体の活動を活性化する。		活動指標名(式)		(1) 総合文化祭の延べ来場者数 (2) 講座回数(大学公開講座、ユネスコ活動)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○総合文化祭を杉並区文化団体連合会と共催で実施 ○区内6大学と共催し公開講座を実施 ○杉並ユネスコ協会と共催等により、国際理解を深め平和の推進を図る事業を実施 ○社会教育活動団体と共催で事業を実施		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
	成果指標名(1)		(代)総合文化祭の来場者数(延べ)		算定式・指標の説明等										
	成果指標名(2)		(代)受講者数		算定式・指標の説明等		大学公開講座、ユネスコ活動								
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)	① 人	16,000	17,000	16,000	17,000	16,000	17,000	16,000	17,000	94.1				
	活動指標(2)	② 回	67	65	64	65	66	65	66	65	101.5				
	成果指標(1)	③ 人	16,000	17,000	16,000	17,000	16,000	17,000	16,000	17,000	94.1				
	成果指標(2)	④ 人	3,300	2,700	3,865	2,800	2,099	2,800	2,800	2,800	75.0				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	7,066	8,298	6,768	9,299	7,918	7,149	22年度予算執行率%		85.1				
	(内)投資的経費等	⑥ 千円	0	0	0	0	0	0					特記事項 ○予算執行残の理由は、①大学公開講座分担金の実績による残等です。		
	(内)委託費	⑦ 千円	0	0	0	0	0	0							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	1.90 0.50	1.90 0.50	2.10 0.50	1.90 0.50	2.10 0.50	1.80 0.50							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨ 千円	17,195	16,870	18,646	16,948	18,732	16,056						
		(内)非常勤職員分	⑩ 千円	1,400	1,397	1,397	1,475	1,475	1,475						
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	25,661	26,565	26,811	27,722	28,125	24,680							
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫ 円	1,604	1,563	1,676	1,631	1,758	1,452							
	財源	受益者負担分	⑬ 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	⑭ 千円	0	0	0	0	0	0						
都からの補助金等		⑮ 千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		⑯ 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰ 千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱ 千円	25,661	26,565	26,811	27,722	28,125	24,680							
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲ %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 546

22年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1) 主な取組み	大学公開講座共催分担金	10	講座		1,570
	杉並区総合文化祭分担金(60周年記念事業分含む)				5,200
	文化団体連合会補助金	1	団体		350
	ユネスコ活動分担金	1	団体		798
	その他( )				0
(2) 事業実績	<p>(1) 総合文化祭は60周年記念事業を含めて、9月26日から11月4日にかけて開催しました。展示部門は8団体、大会部門は18団体、美術作品展は5種目、60周年記念事業は、展示部門が2団体、大会部門が5団体、舞台部門が15団体参加しました。またこのほか、60周年記念誌を2,000部発行しました。</p> <p>(2) 11月2～4日は、区民文化の日とし、一般区民からの参加を受け付けました。</p> <p>(2) 大学公開講座は、区内6大学で10講座(講義45回)を開催しました。</p>				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[その他]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区総合文化祭は、当初4団体から発足し、平成21年度から現在の31団体 区内大学公開講座実施対象校数 昭和60年 4大学 →平成5年度 5大学 →平成13年度 6大学(区内の全大学で実施しています。)
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	(1) 総合文化祭の区民文化の日の出演者からは、音量の大小によってプログラムをまとめたかどうかとの意見がありました。他には「発表の場」が得られて良かったとの意見も多数ありました。(2) 大学公開講座については、各大学とも特色のある講座を実施し、リピーターも多く好評でした。(3) ユネスコ事業のギャラリートour(美術館、文化遺産見学)では、応募者が多く好評でした。
	今後の予測	社会教育団体との協働事業は、多様な教育、文化・芸術に触れる機会を区民に提供できることから、今後も期待は大きいものと予測されます。継続的に実施されることで、内容がより咀嚼され、充実したものに発展していくことが期待されます。
評価と課題	<p>○文化団体連合会の事業は、社会教育か文化行政という分野上の疑義を抱えています。区長部局への所管変更により、その活動は社会教育ということばにとらわれない、これまで以上に幅広い文化事業として活性化させる期待があります。</p> <p>○大学公開講座については、本事業とは別に五大学連携事業が並存しています。各大学の窓口が事務職レベルとなる大学公開講座と学校を代表する職員を窓口とする大学連携事業とは業務的な一体化は検討すべき余地があると考えます。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ● 現状維持      ○ 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更      ○ 実施方法の変更
<p>(1) 杉並区総合文化祭は文字通り区民のための文化の祭典であることから、文化団体の育成を含めて区長部局の文化行政部門との連携・役割分担の見直し等今後の方向性について検討していく必要があります。</p> <p>(2) 大学公開講座については、大学連携等関連部署との情報の共有を進めていきます。</p>			

特記事項	
------	--



# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 547

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				すぎなみ大人塾	2
		家庭教育	30	団体	1,232
		区民企画講座	2	コース	395
		社会教育セミナー	1	講座	612
		その他 ( )			0
	(2) 事業実績	区民企画講座 ①企画運営委員数 ②講座開催回数 ③講座参加者延べ人数 30-40代対象 ①5名(申込10名) ②2回 ③29名 50-60代対象 ①5名(申込7名) ②3回 ③124名 社会教育セミナー 応募者数 55名(平均参加者 33.4名) すぎなみ大人塾 年間延出席者 1007名 大人塾まつり 参加者約1000名 活動記録集の発行 昼コース 1000冊(有料頒布) 夜コース 350部			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[その他]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区民意向調査における調査結果(地域の講習会や教育支援活動への参加意向) 15年度 43.2% → 18年度 42.8% 区民アンケート(協働の地域社会づくりについての考えに対する参加意向) 22年度 8割以上
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	「同世代でもそれぞれ意見や思いが異なり、それをまとめていく過程において学ぶところが多かった」 「個人ではなく仲間と一緒にやり遂げられたからこそ見えてきたものがあった」など、地域における他者との相互学習による学習方法が高く評価されています。
	今後の予測	東日本大震災以降、地域におけるつながりづくりの必要性がより広く認識されてきており、地域で行われる事業への関心はこれまで以上に高くなることが想定されます。
	評価と課題	区民企画講座は、教育振興基本計画からも社会全体で教育の向上に取り組むために誰もが主体的に学習できる機会や場として益々重要となっています。一方で、地域参画の少ない層を対象にしている難しさの克服にはさらに工夫が求められています。 大人塾は、一年間を通じた高度な学習形態と言えますが、出席率は高く、修了生の社会教育委員への就任などから問題意識の高まりが証左されています。大人塾まつりは、修了生のつながりと活動の発表の場として有効な手段ですが、一般の祭りと混同されないように工夫する必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
		区民企画講座は、これまでの成果と課題を活かし、地域社会の担い手として重要な青年層の参画を得ながら、発展的展望から事業運営を検討していきます。 大人塾は、6年を経過したことから次の視点での改善を図っていきます。こうした取り組みは、具体的成果が目に見える形では直ぐには現れず、客観的評価を得られるまで時間がかかることから、地域単位での取り組みによりそうした成果の確認に寄与するものです。 ○コース設定について      コース数の検討や短期の地域分散型講座の実施を検討します。それにより、区内各地域での受講生の裾野拡大を図るとともに、地域課題発見型の講座色を鮮明にします。 ○認知度の向上について      大人塾まつり(成果発表事業)を計画的に実施し、大人塾の卒業生の活動を広く区民に周知し、活動のネットワークの拡充を図っていきます。また、地域コムの利用をはじめとしたネット環境の整備やメーリングリストの活用を図りつつ、冊子発行なども合わせて総合的・計画的に進めていくことで、大人塾の認知度を高めていきます。 ○修了生の活用について      400名以上の大人塾を修了した受講生の多岐にわたる活動実績から、こうした人材を自治会組織や商店街、学校などでコーディネーターやファシリテーター的役割を持つ人材として地域での活用を図っていく方策を考えます。	

特記事項	
------	--

## 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		社会教育センター維持管理		款	7	項	5	目	2	事業	1	整理番号	550
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		係名	社会教育センター		連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	545		
上位施策No・施策名		62 生涯学習環境の整備・充実		予算事業区分								既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	1	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			社会教育センター		根拠法令等		(1) 社会教育法第3条、第5条 (2) 杉並区立社会教育センター条例				
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)			区民の学習の場として、安全で快適に活動できる施設として良好な環境を維持し利用者に提供する。		活動指標名(式)		(1) 施設利用回数 (2)				
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)			○利用者に対し、社会教育の学習の場を提供すると同時に、一般区民の利用施設として快適で安全な環境を図るため、修繕を含めた施設の適正な維持及び管理を行う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標				
				成果指標名(1)		稼働率		算定式・指標の説明等		施設利用回数÷施設利用可能回数×100			
				成果指標名(2)				算定式・指標の説明等					
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度計画	計画(目標値)に対する22年度の達成率 %			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績						
指標	活動指標(1)	①	回	5,269	8,606	5,191	8,606	5,351	8,606	62.2			
	活動指標(2)	②											
	成果指標(1)	③	%	61	100	60	100	62	100	62.0			
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	69,969	68,383	64,446	68,486	60,955	62,429	22年度予算執行率%	89.0		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	3,990	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	51,829	49,940	49,508	49,941	44,804	44,455				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.90 0.00	0.90 0.00	0.90 0.00	0.80 0.00	0.90 0.00	0.80 0.00	0.80 0.00			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	8,145	7,991	7,991	7,136	8,028	7,136			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費(⑤+⑨+⑩)	⑪	千円	78,114	76,374	72,437	75,622	68,983	69,565				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	14,068	8,875	13,954	8,787	12,892	8,083				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	26,864	28,066	29,396	27,797	28,700	28,207			
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0			
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0	0			
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	26,864	28,066	29,396	27,797	28,700	28,207				
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	51,250	48,308	43,041	47,825	40,283	41,358				
受益者負担比率(⑬)÷⑪		%	34.4	36.7	40.6	36.8	41.6	40.5					

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 550

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		(2) 事業実績	年間契約による定期保守点検を始め、非常用自家発電装置の修理、ホールの舞台機構ワイヤーの一部交換、ホールの客席の張替え等の既存設備の不具合の補修を行い、安全に区民が利用できるように施設の保守を実施しました。		
		施設保守管理委託料			43,783
		光熱水費			11,943
		施設維持経費(修繕費、消耗品、使用料)			5,229
		その他 ( )			0

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="実現していない(実現は困難)((4)へ)"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="行政直轄"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	開設後23年間、建物、付帯設備、備品類等の経年変化に対して、修理・修繕、買い替え等をしてきました。開設当初からの設備・備品について対処療法的な修理が続いています。特に、電気設備や昇降機設備等においては、保守点検業者の指摘もあり、早急に交換、修理等対応が必要であるにも関わらず、予算措置が整わず対応できていない案件もあります。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	AV機器等旧式の機種も多く、多様な利用形態に対応できない状況があり、DVD・Blu-RayDiskなどのデジタル機種導入の要望があります。その一方、従来のカセットデッキなどの利用希望も根強く、修繕等を行うことが困難な場合も出てきています。
	今後の予測	今後は、東日本大震災の影響を受けたと思われるひび割れ、建物の補強の劣化等の箇所もあり、緊急修繕の必要が出ることも予想されます。また、長期的な節電の意味からも、特に電力消費量の多いホールの照明設備の、LEDへの切り替え等検討が必要と思われます。
	評価と課題	竣工以来、20年以上を経て、躯体とは異なり対応年数の短い設備に不具合が生じています。特に非常用蓄電池などの電気設備や昇降機など利用者の安全性・利便性の確保にとって必要な設備に支障が出ています。またホールの照明設備は老朽化が進み火災の恐れも危惧されています。区民の安全を確保するためにも照明設備の更新が必要です。なお、照明機器は発熱量の低いLED等を検討することは今後の省エネ・二酸化炭素抑制につながります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
		平成20年度に実施したホールを中心とした改修調査においても、舞台機構、電気設備等各設備全般にわたって改修が必要との結果が出ており、施設の老朽化は年々進行しています。実施計画に組み込む等、計画的な改修の必要があります。ただし、大規模修繕が必要でありながら、貸出し施設であるという性格上、利用者がいるため、改修工事に要する期間は、短期集中型により工期の可能な限りの短縮を図るか、工事内容を複数年に分割するなどの工夫の必要があります。	

特記事項	
------	--

## 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		生涯スポーツ振興事業		款	7	項	6	目	1	事業	1	整理番号	553	
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		係名	社会体育係		連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	548			
上位施策No・施策名		62 生涯学習環境の整備・充実		予算事業区分							既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	37	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等							
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)							活動指標名(式)					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)							成果指標					
スポーツをする機会の少ない人及びスポーツ団体・競技者									(1) 社会教育法第3, 5条、スポーツ振興法第7条					
生涯スポーツ振興事業を通して、スポーツ実施者の拡大を図ると共に、事業の運営等への参画・協働の仕組みを充実させ、様々な立場でスポーツに関わる人を増やすことで、人と人とのつながりを広げ、スポーツによる地域づくりを目指す。									(2) 杉並区体育指導委員に関する規則、杉並区スポーツ栄誉顕彰要綱					
生涯スポーツ振興事業を通して、スポーツ実施者の拡大を図ると共に、事業の運営等への参画・協働の仕組みを充実させ、様々な立場でスポーツに関わる人を増やすことで、人と人とのつながりを広げ、スポーツによる地域づくりを目指す。									(1) 各種生涯スポーツ事業回数					
生涯スポーツ振興事業を通して、スポーツ実施者の拡大を図ると共に、事業の運営等への参画・協働の仕組みを充実させ、様々な立場でスポーツに関わる人を増やすことで、人と人とのつながりを広げ、スポーツによる地域づくりを目指す。									(2) 共催件数					
○体育指導委員：公募により委嘱した体育指導委員は、地域拠点活動、綱引き大会、キンボール交流大会、すぎなみスポーツデビューなどの事業を企画・実施する。 ○駅伝大会：中学校対抗駅伝、すぎなみ名物ファミリー駅伝を開催する。 ○区民歩こう会：春2回、秋1回開催する。 ○わいわいスポーツ教室：年6回開催する。									※(代)＝適当な指標がない場合の代替指標					
○体育指導委員：公募により委嘱した体育指導委員は、地域拠点活動、綱引き大会、キンボール交流大会、すぎなみスポーツデビューなどの事業を企画・実施する。 ○駅伝大会：中学校対抗駅伝、すぎなみ名物ファミリー駅伝を開催する。 ○区民歩こう会：春2回、秋1回開催する。 ○わいわいスポーツ教室：年6回開催する。									成果指標名(1) 各種事業参加者数・スポーツ栄誉章被顕彰者数					
○体育指導委員：公募により委嘱した体育指導委員は、地域拠点活動、綱引き大会、キンボール交流大会、すぎなみスポーツデビューなどの事業を企画・実施する。 ○駅伝大会：中学校対抗駅伝、すぎなみ名物ファミリー駅伝を開催する。 ○区民歩こう会：春2回、秋1回開催する。 ○わいわいスポーツ教室：年6回開催する。									算定式・指標の説明等 生涯スポーツ振興事業10事業の延参加者数					
○体育指導委員：公募により委嘱した体育指導委員は、地域拠点活動、綱引き大会、キンボール交流大会、すぎなみスポーツデビューなどの事業を企画・実施する。 ○駅伝大会：中学校対抗駅伝、すぎなみ名物ファミリー駅伝を開催する。 ○区民歩こう会：春2回、秋1回開催する。 ○わいわいスポーツ教室：年6回開催する。									成果指標名(2) 各種事業ボランティア等人数					
○体育指導委員：公募により委嘱した体育指導委員は、地域拠点活動、綱引き大会、キンボール交流大会、すぎなみスポーツデビューなどの事業を企画・実施する。 ○駅伝大会：中学校対抗駅伝、すぎなみ名物ファミリー駅伝を開催する。 ○区民歩こう会：春2回、秋1回開催する。 ○わいわいスポーツ教室：年6回開催する。									算定式・指標の説明等 生涯スポーツ振興事業8事業の実行委員・ボランティアの延人数					
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %			
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績			
指標	活動指標(1)	①	回	34	36	37	36	45	45	45	125.0			
	活動指標(2)	②	件	35	37	34	37	37	37	37	100.0			
	成果指標(1)	③	人	2,343	2,420	2,194	2,480	2,472	2,540	2,540	99.7			
	成果指標(2)	④	人	863	805	867	898	864	913	913	96.2			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	30,458	33,181	30,453	34,012	31,331	34,873	22年度予算執行率% 92.1				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 (*) 「成果指標(1)」の「生涯スポーツ振興事業10事業」は以下のとおり。 ①体育指導委員地域拠点活動 ②綱引き大会 ③キンボール交流大会 ④すぎなみスポーツデビュー ⑤中学校対抗駅伝 ⑥すぎなみ名物・ファミリー駅伝 ⑦春の区民歩こう会 ⑧秋の区民歩こう会 ⑨わいわいスポーツ教室 ⑩スポーツ栄誉章 このうち、④⑩以外の8事業は、実行委員やボランティアを募り区民参画により事業を実施しているため、その人数を「成果指標(2)」としている。				
	(内)委託費	⑦	千円	916	852	860	844	804	3,114					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	4.34 0.50	4.25 0.50	4.71 1.10	4.30 1.10	4.49 1.10	4.20 1.10					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	39,277	37,736	41,820	38,356	40,051					37,464
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	1,400	1,397	3,072	3,245	3,245					3,245
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	71,135	72,314	75,345	75,613	74,627	75,582					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	2,092,206	2,008,722	2,036,351	2,100,361	1,658,378	1,679,600					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	665	700	478	600	384					600
		国からの補助金等	⑭	千円	31	8	0	0	0					0
		都からの補助金等	⑮	千円	0	10	24	31	44					31
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0					0
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	696	718	502	631	428	631					
差引：一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	70,439	71,596	74,843	74,982	74,199	74,951					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.9	1.0	0.6	0.8	0.5	0.8						

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 553

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		駅伝大会(中学校対抗駅伝、ファミリー駅伝) 体育団体育成 体育指導委員 区民歩こう会(春2回、秋1回) その他(わいわいスポーツ教室、スポーツ栄誉章)	689	人	20,155
		27	事業	5,690	
		26	人	3,533	
		489	人	1,005	
				948	
	(2) 事業実績	各事業は、区民や体育指導委員、関係団体等による区民参画で、企画・実施しています。わいわいスポーツ教室への参画を目的とした、すぎなみ地域大学の講座を実施し、14人が修了、3年合計で65人が講座を修了し、そのうち28人がボランティアとして、5人が実行委員として活躍しました。体育団体育成は、共催事業37件、後援事業112件に対して活動助成を行い、そのうち27件に共催分担金を支出しました。体育大会等で優秀な成績を収めた者に対し、スポーツ栄誉章を授与しました(42組241名)。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力]	(4) 協働等の今後のあり方 推進	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<b>【区民意向調査】</b> 健康状態について、「非常に健康である」「だいたい健康である」の割合 H17:81.6% H22:85.3% ボランティア活動について、「活動してみたいと思う」人の割合 H17:45.2% H22:48.3% 取り組んでいる社会参加活動について、「スポーツ活動」をあげた人の割合 H17:19.4% H22:22.3%
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	中学校対抗駅伝大会への区内関係団体の関心が高く、当日のボランティア協力員として多くの参加がありました。すぎなみ名物・ファミリー駅伝は、定員を上回る69チームの申込みがあり、年々参加チームが増加しています。区民歩こう会は人気が高く、秋の歩こう会は、毎年バス5台で実施しています。わいわいスポーツ教室は、特に水泳の応募が多く、抽選になっています。
	今後の予測	健康意識の高まり、元気な高齢者の増加等により、身近な場で運動・スポーツの機会を求める人が増えることが予想されます。また、地域の人のつながりを求める機運やボランティア活動への意識も高まることも予想され、スポーツによる地域づくりを目指し、区民参画の取り組みをさらに拡充します。
	評価と課題	各種事業の参加者数等(成果指標(1))は、平成21年度2,194人、平成22年度2,472人と増加しました。各種事業のボランティア等人数(成果指標(2))は、平成21年度867人、平成22年度864人とほぼ同数でした。ボランティア参加や実行委員等としての参画の機会が増えるよう、さらに工夫を重ねることが課題です。また、スポーツによる地域づくりの推進役である体育指導委員の人材確保も、引き続き課題となっています。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ○ 現状維持      ● 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更      ● 実施方法の変更
	わいわいスポーツ教室について、ここ数年の課題である「実行委員・ボランティア」の人数の減少に対応するため、すぎなみ地域大学において、3年に渡り「障害者スポーツボランティア養成講座」を開催し、合計65名の修了者中から、新たなボランティアや実行委員が生まれています。地域大学修了生によるOB会の発足を支援し、将来的に事業を支える組織への発展を目指します。さらに、区民からコーディネーターを募集し、障害者施設職員に代わる専門スタッフとして期待しており、多方面から区民参画を推進しています。また、体育指導委員は「親子で元気アップ」事業の実施や、小学生の健康相談業務に従事するなど、従来の活動に加えて子どもの体力づくりへの課題に取り組みました。今後は、より地域に密着した活動が展開できるよう、人材確保を目指します。 (財)杉並区スポーツ振興財団との役割分担を検証する取り組みと連動し、生涯スポーツ振興事業の移行を検討しました。財団のノウハウやネットワークを活用することで、より効果的に実施できる事業については、今後、段階的に財団に移行していきます。		

特記事項	
------	--



# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		財団法人杉並区スポーツ振興財団への助成				款	7	項	6	目	1	事業	2	整理番号	554
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課				係名	社会体育係			連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	549	
上位施策No・施策名		62 生涯学習環境の整備・充実				予算事業区分						既定事業			
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	5	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理				財団法人杉並区スポーツ振興財団		根拠法令等		(1) 社会教育法第3, 5条 (2) スポーツ振興法第22条					
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)				財団法人杉並区スポーツ振興財団が、その設立目的であるスポーツ振興に関する事業を活発に行うことができるよう、補助金を支出し、財団の安定的な運営に役立てる。		活動指標名(式)		(1) 教室系事業の開催数 (2) 教室系事業の種目数					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)				○杉並区財団法人に対する助成に関する条例に基づき、財団法人杉並区スポーツ振興財団からの申請を精査し、補助金を支出する。 「各種スポーツ教室」、「野外スポーツ活動」、「ニュースポーツ普及」、「スポーツ指導者養成」、「スポーツ普及事業」、「健康・体力づくり事業」を実施		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)	①	教室	112	144	185	203	287	194	141.4					
	活動指標(2)	②	種目	44	50	64	66	60	66	90.9					
	成果指標(1)	③	人	29,268	60,373	48,538	83,997	66,323	89,500	79.0					
	成果指標(2)	④	人	28,616	27,000	35,277	34,620	37,050	36,646	107.0					
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	122,330	126,853	101,853	70,614	60,614	72,427	22年度予算執行率%		85.8			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	<b>特記事項</b> ○予算執行算の理由は以下のとおり。 ・補助金の精算による残(自主財源が十分に確保できたため、精算)					
	(内)委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.73 0.00	0.62 0.00	0.76 0.00	0.70 0.00	0.73 0.00	0.69 0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	6,607	5,505	6,748	6,244	6,512					6,155	
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0					0	
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	128,937	132,358	108,601	76,858	67,126	78,582						
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	1,151,223	919,153	587,032	378,611	233,889	405,062						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0					0	
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0					0	
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0					0	
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0					0	
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	128,937	132,358	108,601	76,858	67,126	78,582						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 554

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		運営等補助金	1	団体	60,614
		その他 ( )			0
	(2) 事業実績	財団法人杉並区スポーツ振興財団に対して、補助金を支出しました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	○区民意向調査において、取り組んでいる社会参加活動について、「スポーツ活動」をあげた人の割合 H17:19.4% H22:22.3% ○平成18年度に指定管理者制度を導入し、補助金のうち、施設の管理運営にかかる経費を別途支出することとしました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	子ども対象の通年教室を増やし(なぎなた、フェンシング、アスレチック等)、いずれも人気が高く、ニーズの高さが確認されました。また、高齢者対象の教室も、3ヶ月サイクルを通年に変更し、継続して参加するための利便性を高めるための工夫を行い、好評でした。スポーツ振興財団の指定管理施設・業務受託施設の合計利用者数が80万人を超え、従来からの目標を達成することができました。
	今後の予測	社会における運動・スポーツの必要性が高まる中で、子供、女性、男性、高齢者、障害者など対象別のきめ細かい事業提供を行うと共に、公益法人としての役割を明確にし各体育施設の安定的な管理運営を継続していくことが求められます。
	評価と課題	活動指標、成果指標、いずれも増加しています。人気の高い教室の拡充、通年教室の導入、体育の日イベントの積極展開、年末年始の一部施設の開場等、区民ニーズに対応した取り組みを行いました。平成25年の公益法人制度改革に向けて、区との役割分担等を検討し、区の生涯スポーツ振興事業を段階的に移行することとしました。さらに、財団事業や補助金のあり方等について検討を行い、確実に公益法人への移行申請を進めます。今後は、単なる教室や大会だけでなく、参加者の仲間づくりから地域づくりへの展開を支援する役割も期待されます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ● 現状維持      ○ 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更      ○ 実施方法の変更
	公益法人としてのスポーツ振興財団の果たす役割を明確にし、各種事業の計画等について調整及び連携を図るため、連絡調整を行いました。さらに、公益法人化に向けた連絡検討会を立ち上げ、具体的な区との役割分担、事業の移行、補助金のあり方、スケジュール等について検討を進めています。今年度も連絡検討会を継続し、確実に公益法人への移行を進めます。		

特記事項	
------	--

## 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		体育施設の維持管理		款	7	項	6	目	2	事業	1	整理番号	555
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		係名	社会体育係		連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	550		
上位施策No・施策名		62 生涯学習環境の整備・充実		予算事業区分							既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	30	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	施設利用者(区民、団体等)	根拠法令等	(1) 社会教育法第3, 5条 (2) スポーツ振興法第12条				
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。						活動指標名(式)	(1) 延利用者数 (2)				
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○指定管理者制度導入施設:下高井戸運動場、上井草スポーツセンター、高井戸温水プール、高円寺体育館、妙正寺体育館、大宮前体育館、永福体育館、荻窪体育館 ○業務委託施設:松ノ木運動場、和田堀公園野球場、杉並第十小学校温水プール、和田堀公園プール、関根文化公園プール、阿佐谷けやき公園プール、(暫定)富士見ヶ丘運動場 ○公園施設:馬橋公園運動広場ほか3施設						成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代)スポーツ活動に参加している人の割合 算定式・指標の説明等 杉並区区民意向調査の社会参加状況より 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等				
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度	計画(目標値)に対する22年度の達成率 %			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	①	人	1,456,829	1,420,000	1,403,202	1,420,000	1,456,759	1,420,000	102.6			
	活動指標(2)	②											
	成果指標(1)	③	%	22.5	24.0	22.3	25.0	22.3	25.0	89.2			
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	728,963	773,600	724,715	771,141	742,861	692,256	22年度予算執行率%	96.3		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	31,620	51,150	47,654	46,283	27,700	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	628,222	652,931	636,525	666,434	659,864	582,350				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.40 0.50	2.39 0.50	2.51 0.90	2.27 0.90	2.38 0.90	2.21 0.90				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	21,720	21,221	22,286	20,248	21,230			19,713	
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	1,400	1,397	2,514	2,655	2,655			2,655	
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	752,083	796,218	749,515	794,044	766,746	714,624				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	516	538	498	526	495	484				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	76,548	72,557	65,121	65,632	94,554			71,778	
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0	
都からの補助金等		⑮	千円	0	91	0	0	0	0				
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	10,395	12,035	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	76,548	72,648	65,121	76,027	106,589	71,778				
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	675,535	723,570	684,394	718,017	660,157	642,846				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	10.2	9.1	8.7	8.3	12.3	10.0					

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 555

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				高円寺体育館ほか6施設管理運営委託(指定管理者)	7
		上井草スポーツセンター管理運営委託(指定管理者)	1	施設	192,208
		杉並第十小学校温水プール 施設及び設備の管理業務委託	1	施設	124,030
		松ノ木運動場 施設及び設備の管理業務委託	1	施設	44,978
		その他 ( 維持管理経費、業務委託費等 )			136,824
	(2) 事業実績	平成18年度から指定管理者制度を導入(指定期間は3年間)。平成21年度から第2期の指定管理者を選定しました。指定管理料の前年度比較は以下のとおりです。 平成21年度の指定管理料 370,632千円 平成22年度の指定管理料 372,232千円			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="十分に実現している"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text" value="企業・個人事業者((3)へ)"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text" value="指定管理者"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="実施継続"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成18年度に、上井草スポーツセンター等8施設に指定管理者制度を導入しました。指定管理期間は3年間であり、平成20年度で満了となったため、選定を行い、第2期の指定管理者の指定を行いました。第2期の指定管理期間も3年間です。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	体育施設の利用者アンケートによると、「施設の設備やサービスに対する総合満足度」において、「満足」「やや満足」と回答した人の割合が、1施設で90%以上、8施設で80%以上、1施設で70%以上となっており、相対的に前年度に比べて割合が上がりました。また、不満な点としては、施設の利用(予約)方法についての意見が多くみられます。
	今後の予測	指定管理者制度導入施設については、より一層の事業の充実や、利用者サービスの向上等による利用者の拡大が期待されるほか、効率的な運営によりコストの削減が見込めます。
評価と課題		上井草スポーツセンターゲートボール場を改修し、多様な種目が実施可能な小運動場を開設したことで、施設の有効活用を図りました。指定管理者制度を導入した第1期に対して、第2期は指定管理料が削減されており、コスト削減の効果が得られています。また、事業参加者数が増え、サービス向上が図られている面も評価できます。指定管理料の削減については、適正な施設維持管理の水準を確保するため、一定の管理経費が必要となることから、サービスの質を確保するために必要な経費が見積もられているか、詳細に確認していく必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ● 現状維持      ○ 縮 小      ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更      ● 実施方法の変更
<p>昨年度に引き続き、施設利用者アンケートを実施しました。結果を指定管理者及び業務委託者にフィードバックし、サービスの質の向上を目指しました。平成23年度も利用者アンケートを継続し、利用者層の経年変化の分析や、課題の把握に役立ちます。そのための、利用者アンケートの実施・集計・分析・報告書作成にかかる経費の予算化が課題です。また、指定管理者評価委員会の回数を2回から4回に増やし、上半期・下半期の評価をするだけでなく、区体育施設指定管理者制度全般に渡る課題について、学識経験者や公認会計士、スポーツ関係団体委員から意見をいただきました。今後も、区民のスポーツ振興を図るための制度の有効活用について、工夫や改善を進めていきます。平成23年度は、体育施設指定管理者の第3期の選定を行うにあたり、個別外部監査で出された意見等を踏まえ、適切に事務を進めます。また、体育施設の公平な利用を目指すため、社会体育団体登録制度の登録要件の見直し、温水プールの団体利用時の集合抽選方式や貸切コース数の見直しを行います。</p>			

特記事項	
------	--

## 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		大宮前体育館の移転改築			款	7	項	6	目	3	事業	1	整理番号	556						
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課			係名	体育施設改築準備担当			連絡先電話番号	1676		昨年度整理番号	551							
上位施策No・施策名		62 生涯学習環境の整備・充実			予算事業区分								投資事業							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業		分野	4	政策番号	3	施策番号	1	事業コード	1	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等		(1) スポーツ振興法第12条 (2) 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則												
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 荻窪小学校跡地に大宮前体育館を移転改築する。				活動指標名(式)		(1) 施設機能等検討会 (2)												
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○平成20年度に資質評価型プロポーザル方式で設計者を選定し、地盤調査・測量、基本設計を行う。 ○平成21年度中に旧荻窪小学校校舎解体工事と実施設計を行う。 ○平成22年度は、建設費やランニングコストの抑制を図るため、施設機能の詳細を検討する。 ○平成23年度建設工事に着工する。				成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標												
		成果指標名(1)		(代)施設機能等検討会																
		算定式・指標の説明等																		
		成果指標名(2)																		
		算定式・指標の説明等																		
区分		単位	20年度		21年度		22年度				23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %							
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		計画							
指標	活動指標(1)	①	回						10	10				100.0						
	活動指標(2)	②																		
	成果指標(1)	③	回						10	10				100.0						
	成果指標(2)	④																		
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	23,868	136,151	127,431	1,108	1,019	902,826	22年度予算執行率%		92.0								
	(内)投資的経費等	⑥	千円	23,868	136,151	127,431	1,108	1,019	902,826	特記事項										
	(内)委託費	⑦	千円	23,008	136,151	127,431	1,108	1,019	902,726											
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.06 0.00	1.00 0.00	1.04 0.00	1.00 0.00	0.21 0.00	0.00 1.00											
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	9,593	8,879	9,234	8,920	1,873					0						
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0					2,950						
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	33,461	145,030	136,665	10,028	2,892	905,776											
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円				892,000	187,300												
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0											
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0											
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0											
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0											
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0											
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	33,461	145,030	136,665	10,028	2,892	905,776											
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0												

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 556

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				計画通知申請手数料	1
		道路清掃業務委託	73	回	285
		樹木剪定業務等委託	1	式	491
		その他 ( )		回	0
	(2) 事業実績	大宮前体育館移転改築に伴う計画通知申請を行うとともに、建設予定地の維持管理として周辺道路の清掃および、敷地内の樹木剪定等を行いました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	基本構想策定後、資質評価型プロポーザル方式により設計者を選定し、基本設計・実施設計を行いました。併せて、基本設計、校舎解体等の住民説明を行うとともに、移転改築用地測量、移転改築用地地盤調査、土質調査、既存建物アスベスト調査を行いました。また、建物の地下化に伴う建設経費の精査のため、22年度の建設工事を延期したことに伴い、校庭に防草シートを設置しました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	住民懇談会報告書により、地域のスポーツの拠点として充実した機能を有するとともに、高齢者の健康増進や地域コミュニティの核としての役割を担う施設の建設が早急に求められています。
	今後の予測	東日本大震災の発生による建設資材の高騰等が与える事業への影響を考慮しながら、建設工事を開始します。
	評価と課題	平成19年度に行った(仮称)大宮前体育館移転改築検討住民懇談会の提言と基本構想の基本的な考え方に示されている①地域スポーツの拠点、②健康・体力づくりに気軽に取り組める施設、③世代を超えた地域コミュニティの核となる施設、④環境共生型施設、⑤地域の防災面への配慮した施設の各視点をプロポーザル方式による提案に反映させ、実施設計を行いました。今後は、建設費やランニングコストの抑制、健康増進機能の一層の検討が課題となります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	建設費やランニングコストの抑制を図るため、実施設計でより詳細の検討を加えました。今後も、建設費やランニングコストの抑制を図るための検討を進めていきます。		

特記事項	
------	--

## 平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		高井戸温水プールの改修		款	7	項	6	目	3	事業	2	整理番号	557						
担当部課名		教育委員会事務局社会教育スポーツ課		係名	社会体育係		連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	552								
上位施策No・施策名		62 生涯学習環境の整備・充実		予算事業区分								投資事業							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	21	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	5	政策番号	15	施策番号	62	事業コード	3	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		施設利用者(区民、団体等)		根拠法令等		(1) スポーツ振興法第12条 (2) 杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則											
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		○平成23年度から始まる杉並清掃工場の建替工事に備え、仮設熱源を設置するとともに、改修により老朽化した体育施設の設備の更新、耐震補強工事、温水プール内各諸室の配置や機能の見直しなどを行うことにより、利用者にとって安全で使いやすい体育施設とする。		活動指標名(式)		(1) (2)											
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		○耐震診断及び基本設計(平成21年度) ○実施設計及び改修中の代替施設の確保(平成22年度) ○改修工事(平成23~24年度上半期)		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標											
				成果指標名(1)		改修工事進捗率													
				算定式・指標の説明等		設計、工事、周辺整備を含む													
				成果指標名(2)															
				算定式・指標の説明等															
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績										
指標	活動指標(1)	①																	
	活動指標(2)	②																	
	成果指標(1)	③	%		30.0	30.0	60.0	60.0	90.0	100.0									
	成果指標(2)	④																	
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	0	8,528	5,943	186,907	178,078	252,467	22年度予算執行率%		95.3							
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	8,528	5,943	186,907	178,078	252,467	特記事項									
	(内)委託費	⑦	千円	0	8,528	5,943	186,907	178,078	252,382										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.00 0.00	0.10 0.00	0.13 0.00	0.12 0.00	0.12 0.00	0.12 0.00										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	888	1,154	1,070	1,070	1,070									
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0									
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	9,416	7,097	187,977	179,148	253,537										
	単位あたりコスト	⑫	円																
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0									
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	993	0	0	0									
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0	0									
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0									
特定財源計		⑰	千円	0	0	993	0	0	0										
差引:一般財源⑬-⑰		⑱	千円	0	9,416	6,104	187,977	179,148	253,537										
受益者負担比率⑬÷⑱	⑲	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

# 平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 557

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		実施設計の作成及び改修工事	1	所	175,294
		備品類の一時保管場所への移設	1	所	2,784
		その他 ( )			0
	(2) 事業実績	地域代表、利用者代表及び区職員で構成する改修連絡会で意見交換を行うとともに、平成22年4月には改修基本設計説明会を実施し、地域代表等から出された意見要望を検討のうえ、実施設計に反映させるよう努力しました。平成22年9月には工事期間中の代替施設となる仮設建物の工事説明会、平成23年3月には改修工事説明会を行い、工事の内容について説明するとともに、ご質問にお答えし、近隣住民及び利用者の理解に努めました。			

協働等点検	(1) 協働等の実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	改修対象の建物は平成58年4月1日に開設されました。それ以来、高井戸温水プールは地域の多くの区民に利用され、健康の向上に無くてはならないものとなっています。(平成22年度利用者数:117,883人)
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	改修後の温水プールについて、大勢で利用する場合の動線、更衣室のレイアウト、ジャグジーの規格等について意見・要望があり、改修内容、実現可否について説明するとともに、構造上止むを得ないものはご理解いただくよう努めました。
	今後の予測	平成24年度に改修工事を竣工させ、平成24年4月には改修後の温水プールで事業を再開します。
	評価と課題	改修工事は予定通り進行しており、改修後の施設を運営する指定管理者を選定することが今後の課題です。工事は平成24年度には竣工する予定です。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充      ○ 現状維持      ○ 縮 小      ● 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更      ○ 実施方法の変更
	平成24年度に改修工事は竣工する予定です。これを機会に、団体利用時の全面貸切の廃止、及び、集合抽選の廃止と機械抽選の導入を進めます。		

特記事項	
------	--